

## 2020年度 第350回教育研究審議会議事要録

日時 2021年1月26日(火) 13:30~14:10

場所 遠隔会議 (Teams利用)

出席者 松尾学長、柳井副学長、龍副学長、二宮副学長、中尾副学長、田上事務局長、伊藤外国語学部長、隈本経済学部長、田島文学部長、田村法学部長、内田地域創生学群長、上江洲国際環境工学部長、日高基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、工藤マネジメント研究科長、小池法学研究科長、今泉学生部長、高橋教務部長、後藤入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、中武環境技術研究所長

- 配布資料
- 1 各種委員会等委員の推薦依頼について
  - 2 公立大学法人北九州市立大学学長補佐規程の一部改正について
  - 3 学長補佐の選考について
  - 4 地域創生学群規程等の改正について
  - 5 2021年度学年暦について
  - 6 2020年度卒業予定者の内定把握率について (2020年12月1日現在)
  - 7 年次有給休暇の5日以上の取得について (通知)

### 第1号 各種委員会等委員の推薦依頼について

\* 資料1のとおり、各種委員会等委員の推薦依頼について提案。

- 情報総合センター運営委員会について、経済学部から2名推薦すると規定されておらず、情報総合センター長が推薦し、学長が指名する流れとなるかと思うがいかがか。
- 情報総合センター会議については各部局から推薦いただくが、情報総合センター運営委員会については部局ごとに人数の指定はなく、情報総合センター長が選ぶこととなる。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

### 第2号 公立大学法人北九州市立大学学長補佐規程の改正について

\* 資料2のとおり、公立大学法人北九州市立大学学長補佐規程の改正について提案。

- 現行規程において、学長補佐の任期は2年とされているが、フレキシブルに運用できるように任期を2年以内とするもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

### 第3号 学長補佐の選考について

\* 資料3のとおり、学長補佐の選考について提案。

- ダイバーシティの推進を担当として文学部の田部井教授を学長補佐としたい。次年度は女性教職員の働きやすい環境を整えることに取り組みたい。任期については2021年4月1日からの1年間とする。
- 様々な大学でダイバーシティ推進室を設置しているが、本学において具体的に担当する事務局はどこか。また、どのようなことを目標としているのか。
- 担当事務局は総務課人事係とすることを考えている。また、目標については、例えば入試業務の負担軽減等の検討を進めたい。また、他大学ではダイバーシティの推進がなされており、本学でも次の

中期計画に向けて取組みの検討をしたいと考えている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

#### 第4号 地域創生学群規程等の改正について

\* 資料4 のとおり、地域創生学群規程等の改正について提案。

- 社会福祉士養成課程の教育内容等の見直しにより、科目数と実習時間数が拡充される。実習時間数の変更(180 時間→240 時間)の為、実習科目の単位数(6 単位→8 単位)も変更する。それに伴い、地域創生学群規程を改正するもの。なお、2021 年度以降入学者から適用する。また、規程の改正と併せて地域創生学類の教育課程編成・実施の方針の関係箇所を変更する。さらに、地域創生夜間特別枠コースの廃止の為、同方針の関係箇所を変更する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

#### 第5号 2021年度学年暦について

\* 資料5 のとおり、2021 年度学年暦について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

#### 報告

- ① 2020 年度卒業予定者の内定把握率について（2020 年 12 月 1 日現在）
- ② 年次有給休暇の 5 日以上取得について
- ③ 第 36 回緊急対策本部会議での協議内容について（口頭）